

多く進出するビジネスホテル。多数の宿泊客。

大津町にビジネスホテルが相次いでオープン

近年、大津町にビジネスホテルが相次いでオープンしているのを知っていますか？「平成15年以降にオープンしたビジネスホテル」では、平成15年から平成20年までの間に、大津町で7軒のホテルがオープンしています。しかも、そのうち5軒が1000室以上の大型ホテルなのです。この大型ホテルのオープンが県内でも特に目立っています。そして、相次ぐホテルのオープンで町の宿泊客数も大幅に増加しています。「県内宿泊客数の推移」を見てみると、平成14年は63,772人だった大津町の宿泊客数が、平成19年には、244,663人（うち、227,643人が県外からの宿泊客）と、実に3.84倍に増加しています。表のとおり、他の地区では増加している地区はほとんどありません。菊池地区（菊池市、合志市、菊陽町、大津町）で見ても増加はしているのですが、大津町の宿泊客数を除くと、対平成14年比は、減少していることになります。しかし、なぜなのでしょう？

宿泊客にアンケート

大津町にオープンしているのは、『ビジネスホテル』です。大きく増加している理由は「ビジネス」での宿泊客が多いからなのではないでしょうか？そこで、各宿泊施設で、アンケートをとってみました（回答者数169件）。

ビジネス客がメインに

①の結果から、関東圏内や九州から来ている人が多いようです。そして、②の結果からは、やはりビジネス関係で来た人が80%もいました。アンケートの回答数や、重複回答もあるのでその結果だけを見て、宿泊客のほとんどがビジネスでの客とは断言できないのですが、少なくとも予想が大きく外れているわけではないようです。

何故ビジネスホテルが大津町に？

本 田技研工業(株)熊本製作所が、国内二輪車の生産を集約しマザー工場となり、大津南部工業団地にも企業が進出しました。そして、多数の企業が工場の増設などを行い、これからの企業の進出や営業、視察などで、ビジネス関係で大津町に滞在する人が多くなるでしょう。それを見込んだから、多数のビジネスホテルは進出したのでしょうか。

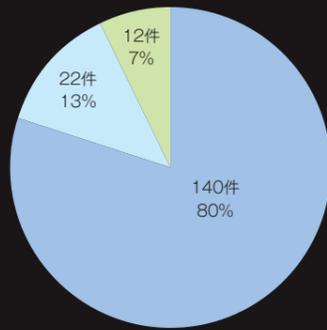
それならば、ビジネスホテルに話を聞いてみるのが一番いいのではないのでしょうか。

県内宿泊客数の推移

	平成14年	平成18年	対平成14年比
熊本市	1,824,000人	1,843,200人	101.1%
阿蘇	2,314,000人	2,129,800人	92.0%
天草	717,000人	662,100人	92.3%
山鹿・鹿本	506,000人	492,300人	97.3%
玉名・荒尾	327,000人	316,400人	96.8%
菊池	356,000人	509,700人	143.2%
(内大津町)	63,772人	225,682人	353.9%
(大津除く)	292,228人	284,018人	97.2%
八代	219,000人	197,500人	90.2%
人吉・球磨	281,000人	256,200人	91.2%
水俣・芦北	226,000人	151,800人	67.2%
宇城	92,000人	86,400人	93.9%
上益城	84,000人	72,100人	85.8%
合計	6,947,000人	6,717,500人	96.7%

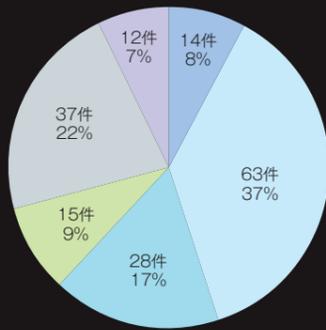
観光統計より

②どんな目的で来ましたか？



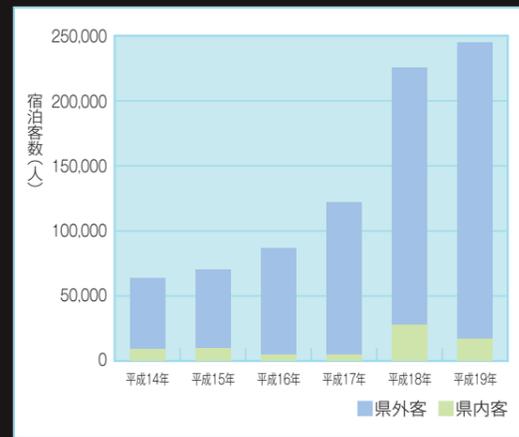
■ビジネス ■観光 ■その他

①どこから来ましたか？



■熊本県内 ■関東方面 ■関西方面
■東海地方 ■九州圏内(熊本県を除く)
■その他(その他の地域、海外など)

大津町宿泊客数の推移



観光統計より

大津町のビジネスホテル

ホテル名	部屋数	収容人数	オープン年月日
エアポートホテル熊本	80	110	平成6年8月
大津亀の井ホテル	169	235	平成15年11月
スリープイン熊本空港ホテル	132	154	平成16年8月
ルートイン熊本大津駅前	207	256	平成18年3月
ビジネスホテルはしもと	21	100	平成18年8月
カンデオホテルズ大津熊本空港	152	286	平成19年9月
ホテルエリアワン熊本空港	66	82	平成19年12月
ホテルビスタ熊本空港	139	161	平成20年1月
合計	966	1,384	

